



**Special  
Olympics**  
Nippon  
Nagano

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・長野 ニュースレター

# 色えんぴつ

IROENPITU <http://www.son-nagano.com>

Vol.23

2013.3.15 発行



WORLD WINTER GAMES  
PyeongChang 2013

## 2013年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・ピョンチャン WORLD WINTER GAMES Pyeong Chang 2013

2013年1月29日(火)～2月5日(火) 開催

世界120ヶ国より約3,000名の選手団が参加し、韓国ピョンチャンで冬季世界大会が開催されました。  
日本選手団(団長 有森裕子理事長、アスリート59名、コーチ23名)に、長野からはアスリート14名、コーチ5名が参加しました。

### 田丸 明衣 TAMARU, Mei

2位 アルペンスキー 中級 SL (回転)  
Alpine Skiing

AS Alpine Intermediate Slalom  
Division F03  
Bib #143  
Score: 1 min, 53.63 sec  
2nd Place  
Date: 05 February



3位 アルペンスキー 中級 SG (スーパー大回転)  
Alpine Skiing

AS Alpine Intermediate Super G  
Division F04  
Bib #143  
Score: 0 min, 48.89 sec  
3rd Place  
Date: 02 February

参加賞 アルペンスキー 中級 GS (大回転)  
Alpine Skiing

AS Alpine Intermediate Giant Slalom  
Division F03  
Bib #143  
Score: 0 min, 57.43 sec  
Participant  
Date: 03 February

### 竹内 和茂 TAKEUCHI, Kazushige

3位 クロスカントリースキー  
フリースタイル 2.5km  
Cross-Country Skiing

CC Cross Country 2.5K Race Freestyle  
Division M05  
Bib #126  
Score: 13 min, 12.23 sec  
3rd Place  
Date: 05 February

4位 クロスカントリースキー  
フリースタイル 1km  
Cross-Country Skiing

CC Cross Country 1K Race Freestyle  
Division M09  
Bib #126  
Score: 4 min, 10.97 sec  
4th Place  
Date: 05 February



### 競技結果

多くのあたたかいご声援、  
ご協力に感謝いたします

### フロアホッケー チームTANTA

赤沼大地 AKANUMA, Daichi  
岩井竜太 IWAI, Ryuta  
久保田寛 KUBOTA, Hiroshi  
丸山祥太 MARUYAMA, Shota  
宮澤幸博 MIYAZAWA, Yukihiko  
中村文茂 NAKAMURA, Fumishige  
西川徹也 NISHIKAWA, Tetsuya  
関智徳 SEKI, Tomonori

伊東宏晃 ITO, Hiroaki  
小山海斗 KOYAMA, Kaito  
前田憲二 MAEDA, Kenji  
峯廻栄志 MINEMAWARI, Eiji  
水沢準 MIZUSAWA, Jun  
鳴澤嘉彦 NARUSAWA, Yoshihiko  
岡村広生 OKAMURA, Hiroo  
吉崎崇 YOSHIZAKI, Takashi

1位 フロアホッケーチーム  
FH Floor Hockey Team

Division T8  
1st Place

Date: 04 February

準決勝

JAPAN 8 - 4 AFGHANISTAN

決勝

JAPAN 4 - 2 KOREA



今回冬季世界大会の平昌大会でフロアホッケーの日本代表として出場しました。初めての海外旅行で親見と離れとても貴重な体験ができました。トーナメントで日本は韓国と対戦し4対2で優勝することができました。みんなで力を合わせた結果です。日本チームは、最高でした。コーチのみなさんありがとうございました。丸山祥太

フロアホッケーアスリート 丸山祥太

平成25年1月26日から2月6日まで韓国のピョンチャンで開催されたスノーボードオリンピックの世界大会にフロアホッケーの競技種目として出場しました。開会式は1月27日にピョンチャンドームで開催されました。フィギアスケートのキム・ヨナ選手と李明博大統領が来てくれました。

フロアホッケーの会場はカンヌ市の関東大学の体育館でした。1月30日最初に当たった相手はマン島というイギリスの島でした。

テレビジョンで別れているので、マン島、韓国、アフガニスタンと試合をしました。僕は韓国とマン島の試合で得点でき、嬉しかったので。センターのポジションなのでうまくパスできる

うに加まはりました。赤沼大地

試合は1日2試合ずつで決勝は2月3日にやりました。

3日はインフルエンザになり決勝争いは出来ませんでした。でも、チーム一丸となって金メダルを取ることができました。

世界大会では試合のほかにホストタウンプログラムがあり、民族村にいたり、コリア大学の美少年食堂にいたりしました。コリア大学はとても広くてびっくりしました。世界大会に出場してよかったことは、沢山の友達ができたことです。また、チームで単独で協力することの大かさがわかりました。韓国は、食事がいしくキムチの味噌菜がタタくてびっくりしました。韓国のりもおいしかったです。

フロアホッケーアスリート 赤沼大地



## アルペンスキーコーチ 金山 幸信

留学中のアメリカでSOに出会った自分にとって、海外（世界大会）とSOはごく自然な繋がりで考えられる存在でした。2005年には長野で世界大会が開催されたこともあり、世界大会は自分の中でずっと目標の一つでした。SO人口を考えると非常に限られた人にしか与えられない世界大会参加の機会を与えて頂いたことに、SON長野、SON、ファミリー、そしてアスリートの皆さんに、まずは感謝を申し上げたいと思います。

約2週間の今回の世界大会。恥ずかしながら風邪で数日間ダウンしてしまったこともあり、本当にアツと言う間でした。最後のレースが終わった直後にテレビのインタビューを受け、その時に「このアスリート達とこのままずっと大会に参加していきたいです」と答えたのが、本当に素直な感想です。風邪をひいた私を気遣ってくれたアスリート、メダルがとれないことにプレッシャーを感じながら最後にメダルを手にしたアスリート。大会期間中は、アスリートの本当に色々な優しさや勇気と触れ合ってきました。

それぞれの地区に戻っていったアスリート達は、今それぞれの地区で活動をしていることと思います。私も同様にこれからも長野でSOに関わり続けていきたいと思っています。いつの日かまた、今回の世界大会で関わらせて頂いたアスリートたちに、SOを通して是非再会したいと願っています。



## アルペンスキーコーチ 森 恵美

「2013年世界大会 ピョンチャン」大きな怪我や病気なく、選手団全員が無事に帰国することができました。

私がコーチとして参加させていただいたアルペンスキーは、コーチ含め20名という大所帯でした。タイトなスケジュールの中、それぞれが重いスキーやブーツを持ってスキー場へ上がることは、考えるよりもとてもハードな毎日でした。

そのような中で、優しい笑顔であたたかな声をかけてくれたアスリートの皆さん、気心が知れたコーチの皆さん、応援に来ていただいた皆さんに、とても助けていただきました。大げさではなく、それがなければ乗り切れることは難しかったと思います。今大会は、スペシャルオリンピックスについて多くを考えさせられ、今後の活動について自分自身にもですが課題を感じました。

困難もありますが未来に向けての大切な課題として、私が世界大会で受けたポジティブな感情を、次に活かしていきたいと思います。

応援ありがとうございました。



## ピョンチャン世界大会に参加して

アルペンスキーコーチ 小林 はま江

初めての世界大会にアルペンスキーコーチとして参加させていただきました。アルペンはアスリートの数が多く、用具も多いので引率は楽ではありませんでした。でもどのアスリートもみんな前向きでひたすら頑張る子たちばかりだったので、私たちコーチも元気をもらいやり遂げることができました。本番までの緊張感、それぞれの困難を乗り越えての達成感、どれも一緒に味わわせていただきました。ただ、あまりに忙しくて「世界大会」らしさを満喫する余裕がなかったことが少し残念でした。



アルペンの田丸さん以外の長野のみなさんとは競技で分かれてしまい現地ではあまり交流できなかったけれど、行き帰りのバスの中などでみなさんと一緒になったときは本当にほっとしました。長野って素晴らしい！（他の人には内緒だよ ^^）

## 世界大会に参加して

スノーシューイングコーチ 山本 杉樹

今回、スノーシューイングのコーチとしての参加となりましたが、普段とは違う競技でいろいろと経験させていただきました。

この12日間、いろいろなことがありました。ホストタウンプログラムの3日目より体調を崩し、インフルエンザにかかってしまったアスリート、同室だった私は、ソウルのホテルで彼とテレビで開会式を見ていました。二人とも式に出たいと思っていました。



競技2日目には、雨の中での競技でした。アスリートのみなは、文句も言わずに競技に取り組んでいました。

私の中でのクライマックスは、大会6日目のリレーでメダルが取れたことです。A、Bチーム共にメダルが取れました。Bチームは、走る順番を入れ替えたことにより、うまく流れができました。Aチームは、直前までバトン練習をし、その成果が見事に発揮されたものでした。普段、雪上競技をしていると、個人競技が多く、団体戦はリレー以外ないといっているくらいです。そのリレーという、団体戦でメダルが取れたことは、個人競技で取るメダル以上に感慨の深いものでした。喜びも何倍にもなりました。

このリレーには、もうひとつの出来事がありました。それぞれのチームに補欠のアスリートがいました。一人は、自分の競技でも走りたくないというアスリート、もう一人はそれほど意欲を表に現さなかったアスリートです。二人とも走れなかったことが、寂しかった、走りたかったと、もらしたというのを他のコーチから聞きました。アスリートとして成長したんだなと感じました。この気持ちを今後につなげていってほしいと思いました。

閉会式が終わり、解団式が終わり、飛行機が飛び、成田が近づくにつれ、寂しさが募ってきました。いろいろなことがあった12日間でしたが、アスリートと濃密にかかわりを持たせていただいた12日間でもありました。

送り出していただいたみなさんに感謝します。



## チームTANTA全員でがんばりました

フロアホッケー チームTANTAヘッドコーチ 渡邊 務

まずは、このような素晴らしい機会と世界一の仲間達とのご縁を頂き、SON・長野の皆さんに心から感謝申し上げます。

2013 SOWGのフロアホッケーチームは、徳島の4名のアスリートと戸田コーチ、愛知の藤田コーチ、長野のアスリート12名とヘッドコーチ渡邊、富山の戸田コーチ、青森の佐藤コーチ総勢21名。地区の頭文字を集めてチームTANTAとして8月にスタートしました。

私にとって合同チームをどのようにまとめるかが最大のテーマ。気心の知れた長野のアスリートはともかく、まずは、ちょっと人見知り個性タップリの徳島のアスリートと仲良くなる事がひとつ目のテーマであったため、9月初旬に迷わず後にチームキャプテンになる長野市のアスリートの小山海斗君との徳島遠征から始めました。

徳島のアスリートやファミリーの皆さんと買い物したり、観光地に連れて行って頂いたり、食事したりカラオケしたり少しだけフロアホッケーしたり、濃厚な2日間で愛情豊かなファミリーの皆さんからも色々なお話を頂き、アスリートとも本当に仲良くなりました。とにかく徳島ラーメンは絶品ですよ。

度重なるオリンピックセンターでの合宿でもスキルアップより、チームとして一丸となる事。そのために「すべての方に対して、やさしさ思いやり感謝」という事をチームTANTAのスローガンとして事ある毎にチーム全員で復唱しました。

合宿時にチームとして初めての試合ではSON・東京の皆さんに負けてからエンジンがかかり、本番では全員フロアホッケーをして金メダルを頂きました。

チームTANTAは、ひとりひとりが本当にいい人の集まりで、ヘッドコーチミーティングや試合後のレフェリーやTOからも日本チームのフェアプレーを大変評価して頂きました。

とにかく、あっという間の12日間で少々疲れましたがこのメンバーならまた何かしたいなあって感じです。



## 応援感想文

### SO冬季世界大会・ピョンチャン 観戦記

理事 伊澤 喜久子

毎回、ナショナルゲームの結果、世界大会出場の選手団に選ばれるのは、長野県からアスリート2～3人、コーチは1～2人。

ところが今回のピョンチャン大会にはフロアホッケー12名を含む、アスリート14名、コーチ5名、合計19名もの選手団が選出され、全体合宿などの移動だけでもてんやわんや。

大会観戦ツアーもファミリーを中心に13名の大所帯となりました。しかし、選手団アスリートもコーチも見知った顔の応援に、大変心強かったのではないのでしょうか。

大会会場となったピョンチャンは事前の予想に反して温かく、雪国育ちの長野勢は拍子抜けの感じでした。

競技の方もフロアホッケーの日本選手たちは代わる代わる発熱など体調不良に見舞われましたが、10代から40代までのアスリートたちが力を合わせてカバーし合い、見事に金メダル獲得。何よりもうれしかったのは他国の方々から、日本選手は反則もほとんどなく本当にフェアな試合運びで見ていて清々しかったとお褒めの言葉をいただいた事です。日頃の練習の成果だと思っています。

世界大会2回目の竹内君。予選で好タイムを出し、強豪グループに入れられての決勝でしたが、見事念願のメダル獲得。本当に良かった!!

田丸さん。大会中アクシデントもありましたが、それにも動ぜず二つのメダル獲得。これからの活躍も楽しみです。

帰国後、ファミリーは大挙して《インフルエンザA型》にかかりましたが、これも楽しい思い出となるでしょう。



## スペシャルオリンピックス2013年ピョンチャン世界大会を終えて

ファミリー 田丸 美佳

韓国ピョンチャン世界大会に応援に行ってきました。韓国は北海道より寒いと聞いていましたが、大会中は暖かく応援するほうもしやすかったです!!

親は、いつもの大会が海外になったぐらいの感覚でしたが、市長訪問や、地区の方に壮行会を開いていただきプレッシャーがかかりましたが、本人はメダルを取りたいとやる気満々で、親のほうが行くまでの体調管理など心配ばかりしていました。が、大会前の練習もいつもと違い集中して頑張って滑っていた姿を見ると、本番でも大丈夫と思うようになりました。

大会では、初級でエントリーしていたのが、アセスメントで中級にエントリーが上がるということもありましたが、予選から旗門の不通過をしないように集中して滑ることができ、決勝でも練習どおり頑張れて、最後まで失敗せず滑りきれてよかったです。その結果スーパー大回転で銅メダル、回転で銀メダルをとることができました。大回転では、思わぬコーチのミスでスタートに遅れ失格と本人のミスではなく結果を出せなかったのは残念でしたが、アルペン女子の仲間達が励ましてくれたので最後まで頑張れました。チームメイトにも助けられ、よい経験ができたと思いました。

世界大会へ行ってみると、大変なこともあります。外国での空気感、もう一度応援に行きたくなくなるようないつもと違う世界に感動して帰ってきました。このような機会を作ってくれた娘に感謝、行かせてくれた家族にも感謝します。

応援していただいた皆様、ありがとうございました。



## ファミリー 関 豊春

2013年SO冬季世界大会・ピョンチャンへ参加、喜びと不安の中で、結果はフロアホッケーで、予選に10対3で負けた韓国に4対2の逆転勝利。コーチに抱きついたり、跳びあがって喜びアスリートの姿を見ながら、涙を流すファミリー、応援団。一緒に目頭が熱くなりました。

これも日ごろのプログラムの中でご指導いただいたコーチの皆さん、そして壮行会を開催いただき、寄せ書きまでしていただき応援してくださった仲間の皆さん、そしてSO日本・長野のご支援のお陰です。本当にありがとうございました。予選では韓国の応援にいつもの力を発揮できませんでしたが、翌日には、温かく見守るコーチを信頼し、これまでの仲間作りの成果を発揮、みごと金メダル。一段とたくましくなったアスリートの姿を確認できました。

この裏には、コーチの皆さんがアスリートの看病もあり、毎日2、3時間の睡眠しか取れない中でのご支援に感謝申し上げるばかりです。お世話になりました。



## ファミリー 伊東 久子

2013年 冬季世界大会に出場する息子の応援に行ってきました。

親子で海外も世界大会も初めてという事もあり、準備から不安や心配でいっぱいでした。

韓国は思ったよりも暖かく過ごしやすいかったです。体育館も広く素敵な所でした。

息子は、フロアホッケーに出場しました。ゴールキーパーという事もあり、自分から仲間に声かけをしていました。韓国戦では点差があり負けてしまいました。試合後泣いてしまったようです。とても悔しかったのかな？ボロボロだったようです。でも決勝戦での韓国との試合は、チーム一丸となってコーチに教えて貰った事が十分出ていたと思います。ゴールしっかり集中して守れました。その結果、金メダルをとることができました。

コーチの皆様の指導のお陰です。ありがとうございました。

とても素晴らしい世界大会でした。



# 2012年第3回スペシャルオリンピックス日本・長野 夏季地区大会

## 2012 Special Olympics Nippon Nagano Regional Games



- |    |                |    |  |
|----|----------------|----|--|
| 日程 | 2012年7月16日 (月) | 場所 | 軽井沢町和美ゴルフ練習場                               |
|    | 2012年9月16日 (日) | 場所 | 松本市ゆめひろば庄内                                 |
|    | 2012年9月22日 (土) | 場所 | 上田市城跡公園陸上競技場<br>信州大学繊維学部テニスコート・<br>体育館・武道場 |
|    | 2012年9月30日 (日) | 場所 | 軽井沢プリンスボウル                                 |



夏季7競技（ゴルフ・水泳競技・陸上競技・テニス・バスケットボール・卓球・ボウリング）の地区大会を開催しました。SON・新潟からも参加があり、選手団総勢264名（アスリート190名、コーチ74名）が、県内各地で日頃の練習の成果を発揮しました。



# 「2012年第3回スペシャルオリンピックス 日本・長野 夏季地区大会」開催お礼

SON・長野 副理事長 若林 紀美子



「2012年第3回スペシャルオリンピックス日本・長野 夏季地区大会」が、軽井沢ゴルフに始まり松本・上田・軽井沢と各地区にわたり関係者及び大会役員・コーチ・ファミリー大勢のボランティアの皆様の御協力により各会場共盛大

に開催出来ました事、厚くお礼申し上げます。

アスリートも久しぶりの大会に緊張感もあったと思いますが、自信に満ちた顔、精一杯力を発揮した事だと思います。表彰式でメダルを胸に掛けて戴いた時なんとも言えない笑顔、通常のプログラムの積み重ねかと思えます。

又次の目標に向かって頑張りましょう。

最後に、様々な形で御協力いただきました企業の皆様方には、心より感謝申し上げます。

本当にありがとう御座居ました。



## 全体合宿 in 黒姫

2012年6月30日(土)～7月1日(日) 於：黒姫ライジングサンホテル

毎年恒例の合宿を行いました。全県からアスリート・コーチ・ファミリー 142名が参加し、親睦を深めました。アスリートたちは親元を離れ、コーチと1泊2日。なかなか寝付けないアスリートもいましたが、大会遠征の練習でもあります。寝静まった後は、コーチたちはミーティングを行い、トレーニングの問題点などを夜遅くまで話し合いました。また、ファミリーはアスリートとコーチがレクリエーションを行っている間、交流会を行い、意見交換をして有意義な時間を過ごしました。



## 「佐久支部発足5周年にあたって」

佐久支部代表 中村 通

平成19年5月27日、佐久地区プログラムは小さな支部として船出しました。素敵な発足会から早いものでもう5年の月日が経ちました。この間アスリート、ファミリー、コーチ、ボランティアの多くの皆さんに支えられ無事今日までプログラムを継続して行くことができました。特にプログラム会場を特別料金で、いつも提供くださっていた佐久プラザボウルのアメニティーズ様、スキー場パラダの平尾山開発様、そして毎年多額のご寄付とご協力をいただいておりますソロプチミストSI佐久の皆様方に厚く御礼申し上げます。ひとえに皆様のご理解ご協力の賜物と支部一同深く感謝いたしております。



さる平成24年12月1日、佐久情報センターにおいて佐久支部発足5周年記念講演会を行いました。「ありがとうのお話」講師は「たけ」こと河村武明氏。氏は2001年10月、突然脳梗塞で倒れ、失語症と言語障害、聴覚障害、右手障害という重い後遺症を残す。「もう死んだ方がましだ」という深い絶望感の中、この障害に「ありがとう」と思い続けた。「ほんまにムリヤリ感謝した」と彼は言う。すると発病2か月後、残った左手で絵が描けることを発見。絵と詩を表現し始める。現在は全国での個展、企業広告、壁画、写真家とのコラボなどその活動は広がり続け、今は「この星に『ありがとう人間』が増えたら明るい星になる」という想いで全国500箇所の無口な講演【ありがとうプロジェクト】に挑戦中とのこと。約40名の参加者が「難があるから有り難い」と、どん底を経験した彼が語るありがとうのパワーを存分にいただきました。



アスリートの皆さん、いつも元気に参加してくれてありがとうございます。最初小学生だった皆さんが中学、高校生になり社会人として活躍していることをうれしく思います。みんなすばらしい能力を持っています。本当にすばらしい。すこしずつでも続けていくことが大事なんだということをおぼえて学ばせてもらっています。これからも自分の目標を持ってチャレンジしていきましょう。そして、これからは少しずつ大会へ参加していきましょう。その向うに世界大会参加を目指して。

## 「長野県人権尊重社会づくり県民支援事業 東田直樹氏 講演会」

日時 2013年1月20日(日) 場所 飯田女子短期大学 大ホール

長野県より助成金をいただき「今、耳を澄ませて聴こう！自閉症の僕が語る自閉症の輝く内面世界」と題して、東田直樹氏、母親の東田美紀氏、明星学園園長 宮下智氏(基調講演)の3講師をお招きし、講演会を開催しました。当日は373名もの参加者でホールは満席となりました。

宮下氏は、施設関係の方々でも戸惑い、接し方に不安を持つ方も多けれども、自閉症の障害を持った方々を理解するには、健常者の都合に合わせるのではなく、相手の意志を汲んで待ちながら、時間をかけて接することが重要であると強調されていました。

また、自閉症である東田直樹氏本人が、キーボードを駆使し、パワーポイントを使いながらマイクを持ち講演した姿を見ることは、自閉症児を持つ保護者の方々の励みにもなり、多数の質問が寄せられました。



アンケートの中には、スペシャルオリンピックスの日常トレーニングでは、ボランティアコーチが時間内のスケジュールをこなすために、コーチのペースで行ってしまいがちだが、待つことの重要性、各人の個性を尊重した指導のあり方が問われている等といった声もあり、大変勉強になる、有意義な講演会であったと思います。

いいだ支部の皆さん！ 準備から片付けまで、大変お疲れさまでした。

# 皆さまのご支援・ご協力に感謝いたします

色えんぴつ22号後、2013年2月末現在の実績ですが、万が一記載もれがありましたらお許しください。

## 寄付・協賛・協力企業、団体、個人

(敬称略・順不同)

セイコーエプソン株式会社 相沢病院 信州ふるさと便事業部 国際ソロプチミスト佐久 善光寺淵の坊	ホクト株式会社 長野大学後援会 株式会社ティアマリア 蓼科高校生徒会 株式会社知足堂	JA長野県グループ 丸美屋食品工業株式会社 国際ソロプチミスト長野 鉢盛中学校生徒会 タヤマススポーツ株式会社	株式会社サーキットデザイン 富士ゼロックス長野株式会社 国際ソロプチミスト長野-みずす 南牧小学校 日本通運株式会社長野支店
仮田達男 土屋幸子 山倉奈夫美 丸山信子 中嶋睦子 竹内牧子 池田加代子 斎藤真千子	澤田紀美子 倉田久江 池田喜美子 荒牧由美子 松山八重子 小坂まり子 中嶋睦子 山田千里	小田中美果 福士美奈子 原田キミ子 宮下光子 金澤レイ子 橋本司津子 鈴木志麻 川本智香子	森恵美 桑原アツ子 花岡圭子 松尾寿美恵 水科利恵 宮澤美彌子 小山洋子 西野富子
塚原美恵子 宮林裕子 原内菊江 小笠原智江子 丸山幸子 大橋みち江 元岡敦子 山崎繁子	軽井沢プリンススキー学校 佐々木豊子 宮澤昌子 納富真弓 久保田優子 若麻績妙子 黒柳美和子 渋沢その	高木悦子 渡邊浩美 笠間和子 青木博美 矢木千恵子 加藤敏江 伊澤喜久子	黒田昌子 石井久子 高島陽子 丸田由香里 中野博子 野村桂子 矢島光子 太田かおり

## 社員

(敬称略・順不同)

若麻績享則 若林紀美子 滝澤ゆり子 竹内忠雄 吉田由美子	安川英昭 松井元 荒井久也 渡邊務 高橋幸枝	高橋聖明 山田清美 土屋龍一郎 宮林栄一 小出郁子	杉山幸治 小山明 中村通 小口明人 諸橋賢二	綿貫隆夫 伊澤喜久子 関豊春 荒木武貴 伊藤成二	宮下和彦 宮沢忠雄 土屋達夫 監物直美 樋口健太郎	宮下智 真篠大樹 伊藤紫一郎 中村晴文 太田かおり	柴田博康 堀内豊彦 関隆夫 宮沢政男
--	------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------

## 賛助会員

(敬称略・順不同)

### 長野支部

山本杉樹 小出幸子 春原翔 宮沢淳 本堂敬 竹内和茂 山浦昭男	山本静代 高木悦子 春原紀子 中澤悠樹 本堂敬祐 竹内三枝子 宮澤左知子	和崎愛実 山岸一徳 荒牧由美子 長原睦子 磯田光司 花岡幸夫 稲本伶音	小口雅也 山岸義徳 大井大輔 中村文昭 宮林功 花岡大吾	小口徳子 赤沼大地 西山徳 丸山祥太 宮林裕子 田丸美佳	田村賢治 赤沼伸一 西山みどり 佐藤和秀 吉田豊 清水淳子	高橋美枝子 中村登美枝 横谷梨央 池本夏綺 吉田空未 小林はま江	有賀早紀 山川ゆかり 宮沢幸博 久保田寛 吉田由美子 山倉奈夫美
---	--	---	---	---	--	---	---

### 上田支部

金山幸信 中島三枝子 小林道子 山崎善行 中村のり子 関智徳 竹花節夫 中村福江 本多豊 渡邊務 竹内茂子 佐納美和子 栗内公人 上原育茂	平野元章 井出麻美子 小林晴美 丸山達也 北沢真吾 高寺隆浩 笠原正人 八重澤裕治 井出英夫 渡邊康子 林道子 及木道隆 衣川ゆみ	高橋君則 井出敦子 小林一夫 丸山由美子 北沢美智江 高寺徹夫 笠原信正 八重澤博 若林紀美子 尾島信子 中村哲 秋山徳行 椎名まさ子	増田ゆかり 池田祐子 松下雄也 竹花幸宏 春原弘子 甲田靖典 甲田智美 大日方剛 若林巧士 尾島美幸 原田貴司 清水昭二 遠藤田鶴子	原山昇 池田政昭 松下澄夫 竹花節子 春原歳子 甲田令子 甲田文代 大日方賢一 大澤哲夫 芹澤優一 藤沢朋実 長谷川恭子 田代豊子	泉田裕香 高橋一生 沢山俊 矢部直 水沢準 渡辺文博 宮下洋平 山崎拓真 宮下光子 竹内創造 北沢成美 三井章子 小林健志	泉田裕章 高橋美恵 沢山文雄 矢部繁晴 水沢家佐美 渡辺清美 宮下香子 山崎文枝 宮下和彦 森恵美 竹内創造・啓子 佐藤三枝子 森千夜子	中島和彦 小林めぐ美 山崎健太郎 中村文茂 高橋奈月 竹花和磨 中村みどり 本多利次 藤野みさ子 山田清美 中村志げ子 市川久子 針山黍子
--	---	---	--	---	---	--	---

### 軽井沢支部

大池史弥 鈴木薫 荒木武貴 石塚賢 田村心子 熊谷万太郎 小林利郎 細萱和一 原田修	秋山なが子 田村澄枝 遠藤幸幸 内堀遼 中田裕美 井出光男 沢野正三 細田秀和 千葉里香	石塚さつき 中田たか子 行田伸一 荻原淳一 南沢伸太郎 岩井竜太 志村今朝文 丸山智之	荻原秋代 南沢明子 小松紀男 工藤恵 宮本安紀 岡村広生 下島敏美 丸山善彦	工藤康子 宮本久美子 佐野知子 小須田陸斗 村田吉見 荻原徳博 谷川みち子 上原達男	小須田健児 横田呂美 佐野誠 篠澤由浩 横田健利 春日俊彦 鳴沢嘉彦 安西るり子	篠澤充子 佐藤かつみ 秋山恵吾 篠塚淳 佐藤裕介 加藤すみ子 羽柴富久美 金杉恭三	篠塚慶子 芝田竹男 荒井潤一 鈴木基也 芝田康 加藤三子 平林和一 金杉陽一郎
--	--	--	---	---	---	--	--

### 佐久支部

大塚悠平 内藤風子 柴田剛 中村育広	勝俣彰 成沢伊織 中村通	小林美香 古越健太 森泉仁	小宮山知世 堀内萌花 中澤朝幸	関愛莉 三木ヒカル 三浦俊樹	高見澤良 森泉花菜 小山さち子	土屋悠士 谷米翼 添田麻里子	東城雅 小淵さくら 田村明夫
-----------------------------	--------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------

### 松本支部

山田行人 伊藤謙 樋口晴香 大槻久見子 上條あけみ 山本哲史 百瀬綾 松本英子	松平賢司 宮本若奈 駒込利雄 木下翔平 滝沢雄太 岩垂竜也 丸山幸子 高山洋武	松平菊江 小松弘芳 伊藤平 浅井洋夫 藤本豊三 柳沢敏昭 長峯亜梨紗 高山まゆみ	松平裕介 増田由美子 上條静華 香西美智子 西片亮史 百瀬勇人 滝沢恭子	木村健一 藤原幸平 矢口貴久 小沢良祐 畑遼一 中島香織 金井研二	木村章吾 神田章 川上都子 松沢猛 平林利裕 羽生侑正 飯沼清子	渡辺勉 金箱英己 岩本久 下條大介 赤羽美加恵 千野里沙 三谷恒彦	渡辺啓介 大貫蓮 松沢和絵 後藤由香里 福井正祐 百瀬月陽 金箱英己
--	--	---	--	---	--	---	--

しおじり支部

木祖小学校 小松幹典 村上八州	樋口千代子 小松文 村上崇	長瀬理恵子 松崎佳雅里 宮沢恵	百瀬一典 田中真一 藤森あづさ	青木大忠 小松幸恵	宮島崇 和田久子	中島香織 西尾拓	百瀬雄一 深澤博
-----------------------	---------------------	-----------------------	-----------------------	--------------	-------------	-------------	-------------

諏訪支部

植松美千代 宮坂和昭	坂野圭祐 小泉匡平	諸橋佑佳 大塚恵子	諸橋恵子 両角久美	酒井慶二郎 宮坂健	藤澤勇	宮尾旭	宮坂侑樹
---------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-----	-----	------

いほく支部

小口恵子 布野勝則	伊東久子 花井良	伊東裕二 森本雄気	伊東宏晃 米山豊	大崎克哉	小島政寿	白髭和幸	田中政信
--------------	-------------	--------------	-------------	------	------	------	------

駒ヶ根支部

堀内春美 下平和子	柘植明久 平岡恵美	倉田禎寛 中山梅子	伊藤俊典 山宮好枝	佐藤勇介 今村津た子	副島薫 杉本妙子	中島順子	野村洋子
--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	-------------	------	------

いいだ支部

明星学園 石田貴久	親愛の里川川 鎌倉勝寿	飯田女子短期大学 瀧沢裕治		小林佑	寺田雄大	横山哲司	中村佳子
--------------	----------------	------------------	--	-----	------	------	------

今後の予定

☆ 「スペシャルオリンピックス日本・熊本  
設立20周年記念全国水泳競技大会」

日程 2013年5月3日(金)～5日(日)  
場所 アクアドームくまもと  
アスリート 7名 コーチ 3名 予定

☆ 全体合宿 in 蓼科

日程 2013年6月29(土)～30日(日)

会員を募集  
しています

スペシャルオリンピックス (SO) とは

スペシャルオリンピックスとは、知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックスは非営利活動で、運営はボランティアと善意の寄付によって行われています。スペシャルオリンピックスでは、これらのスポーツ活動に参加する知的障害のある人たちをアスリートと呼んでいます。

正会員 (社員) 入会金	5,000円	賛助会員 個人	1口	3,000円
年会費	5,000円	賛助会員 団体	1口	10,000円

FUJI XEROX 

ダントツのお客様満足の実現を追求する

富士ゼロックス長野は「ドキュメントサービスとコミュニケーションの領域で、お客様に卓越したソリューションを提供し、ダントツのお客様満足の実現を追求する」この目標を経営理念として掲げ、お客様のベストパートナーを目指して日々活動しています。

富士ゼロックス長野株式会社 〒380-0904 長野市七瀬中町161-1 アーバンネット七瀬ビル 北館 Tel:026-227-1231